

# スポーツの広場

## 第43号

### 4月親子運動あそび

2024年4月13日(土)「三条市栄体育館」に於いて「親子運動あそび教室」を開催しました。三条市・燕市・長岡市(中之島)・加茂市(当日欠席)の親子から申込みがあり、当日は3歳から小学2年生まで幼児・小学生の親子が11組参加しました。

教室は、幼児期・児童期に子どもたちが身に付けておくことが望ましい「走る」「投げる」「跳ぶ」を中心に行いました。ゲーム形式を交えながら、コーンやボールなどの道具も使用し、体全体を使って楽しく運動を行いました。

子どもたちが「運動あそび」を通して、自然とからだの使い方を学び、からだを動かすことの楽しさを体験できる様、引き続き教室を継続実施していきます。

また午後のフリー開放では、運動あそびの道具や、バドミントン・スロレックのコートを開きました。ご家族・ご友人同士での利用があり、それぞれ楽しく利用されていました。

今後も栄体育館に来る機会を設けて、スポーツを通じた体験やあそび場の提供をしていきます。



### 親子リズムジャンプ体験会



2024年5月11日(土)に三条市栄体育館に於いて「親子リズムジャンプ体験会」を開催いたしました。年少児から小学3年生の子どもとその保護者18家族(大人19名・子ども26名)総勢45名より参加いただきました。

リズムジャンプとは、音楽のリズムに合わせて様々なジャンプやステップを行うリズム運動です。脳を育てる運動あそびともいわれ、教育現場・スポーツ分野・高齢者への指導など幅広く取り入れられています。

初めて体験する参加者でしたが、テンポの良い音楽がかかると自然にリズムを感じていました。簡単なジャンプから始まり、どんどん複雑な動きや早いテンポのリズムに戸惑いながらも、保護者とともに楽しく運動する姿が印象的でした。

最後に参加者全員で今日挑戦した様々なジャンプを取り入れた簡単なダンスを踊り、一体感のなかイベントが終了しました。

「リズム感を高めることで運動能力は向上すると言われています。子どもの運動不足が深刻化している現在、音楽があれば自宅でも楽しめる遊びとして体験会を開催することで、運動機会創出の一助になりました。

### 2024 カヌーワイルドウォータージャパンカップ 兼 CAPTAIN STAG CUP

2024年4月21日(日)に、「2024 カヌーワイルドウォータージャパンカップ第1戦兼 2024 CAPTAIN STAG CUP」を開催実行委員会の一員として、開催致しました。

少雪の影響から、水量は例年と比べると少なかったですが、大きな事故や怪我も無く、無事に開催することができました。選手からは「海外の川に近い激しさがあり、魅力的!」「良いコースでした!また参加したい!」との声がありました。

大会開催中は、より多くの市民に観戦して頂けるようにキッチンカーを展開しました。また、協賛企業のご協力のおかげで選手には多くの賞品を渡すことができました。満足度の高い競技会を実施することで、パドルスポーツを通じた地域活性化につなげることができました。

クリーンリバー活動も実施し、選手・役員全員で地域への奉仕活動も実施できました。お集まり頂いた選手の皆様・役員の皆様、受け入れてくださった地域の皆様に感謝申し上げます。



### スポーツリズムトレーニング指導者研修会

2024年5月11日(土)「三条市栄体育館」に於いて「スポーツリズムトレーニング指導者研修会」を三条市スポーツ少年団と協働して開催しました。当日は20代から70代以上の幅広い年代の方々参加了。

研修会には、一般の方とスポーツ少年団単位(団・役員、事務局)が参加し、初めはアイスブレイクとして二人組のリズム遊びから始まりました。参加者同士が解れた後、ストレッチや可動域を広げる準備運動を行いました。一般的に認知度の高いストレッチである伸脚を行う際にも、細かいポイントを意識して行うことで、より効果的に身体を伸ばすことができ、身体が硬く、険しい顔になりながら取り組まれている指導者の方が多くいらっしゃいました。

リズムトレーニングでは、音楽に合わせてステップやジャンプを行います。初めは簡単な動き・テンポから始まり、段階的に複雑な動き、速いテンポに挑戦しました。

動きやテンポのレベルが上がると完璧に出来ない参加者の方が出てきました。出来ないことも楽しみながら笑顔で取り組む様子が見受けられました。研修会後の参加者アンケートでは、「できないことが楽しかった。」「競技のベースとなる運動神経の向上が期待でき、かつ、楽しいものなので大変有益だと思います。」「といった感想があり、リズムトレーニングが運動の得意不得意関係なく、楽しみながら能力の向上を図れる効果的なトレーニングであることを実感されていました。

今後も、指導者の指導スキル向上に繋がる様、研修会を開催していきます。



## テニス体験教室

2024年6月8日(土)三条市栄体育館にて、競技の普及を目的に「テニス体験教室」を開催しました。当日は、小学生を中心に55名の方からご参加いただきました。

教室は、三条市テニス協会より講師としてご指導いただき、フォアハンド・バックハンドの打ち方からサーブの打ち方、スマッシュの打ち方など、テニスの基本的な動きを中心に体験していただきました。

子供たちは最初、初めて行うスポーツということもあり、緊張や不安で少し動きが硬い様子でしたが、講師からのアドバイスや明るい声掛けもあり、徐々に緊張が解け、動きが良くなっていきました。ボレーの練習では、かごに何個ボールを入れられるかというゲーム形式の練習も行い、楽しみつつも真剣に取り組んでいました。

フリータイムでは、今回ご参加いただいた子供たちと一緒にご家族の方や大人の方まで幅広く参加され、楽しくボールを打ち返していました。

教室後の子供たちへのアンケートでは、「楽しかった」、「もっとやりたい」、「また参加したい」という言葉が多くありました。保護者の方からも、「このような機会があればまた参加したい」、「ぜひ定期的このような機会を作っていただきたい」というお話が聞けて、非常に開催意義のある教室になりました。

今回はテニス教室でしたが、その他のスポーツにつきましても、子供から大人まで楽しく体験できる機会を作り、スポーツの発展や競技の普及に繋げていきます。



## スポーツクリーンデー

2024年7月7日(日)AM6:30より、三条パール金属スタジアム・三条市下田体育館・三条市栄体育館にて、スポーツクリーンデーを開催し、当協会役員及び加盟団体から総勢120名が参加し、各施設周辺の清掃活動を実施しました。

三条パール金属スタジアムでは当協会の桜の木周辺の草刈りと落ち葉清掃と追肥、下田体育館では施設周辺の草刈りとゴミ拾い側溝の泥上げをしました。

また、今回は栄体育館を追加し、三条STCスポーツ少年団より花壇の草取り・蜘蛛の巣とり・外周掃き作業・トレーニングルーム中庭の草取りと苔剥かしをして頂きました。

清掃活動は1時間程度でありましたが、ご参加いただいた皆様のおかげで、見違えるほど綺麗になりました。

大勢の方々からご尽力いただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 7月親子運動あそび教室

2024年7月6日(土)「三条市栄体育館」に於いて「親子運動あそび教室」を開催し、2歳から小学2年生まで幼児・小学生の親子17組が参加しました。

まず初めに、広い空間を思いっきりつかって、走るメニューを行いました。かけっこ、スキップ、後ろ向き走りなど、低年齢の親子は手をつなぎながら、小学生は親子で競いながら楽しく走りました。

ほかにはフラフープを用い、フープを跳んだり、中に入ったりしました。新聞紙あそびでは、棒をつかってハードルにしたり、戦いごっこをしたり、最後は丸めてボールをつくり投げ合ってあそびました。

私たちは、保護者の方々が子どもとどんな遊びをしたらいいのか悩む声を耳にすることがあります。当教室では、道具がなくてもできるあそびや、新聞紙など簡単に用意できるものを使って親子が触れ合いながらできるあそびを紹介しています。

子どもの頃の運動経験が、将来の心身の発達に繋がるといわれているこの時期に、積極的からだを動かす楽しさやあそび方を伝える機会として、今後も教室を開催していきます。

午後のフリー開放では、運動あそびの道具や、バドミントン・スポレックのコートを用意しました。午前の教室から引き続き参加して下さる家族もいました。

フリー開放の名の通り、用意されたあそび道具を子どもたちが思い思いに展開して、夢中になってサーキットであそぶ姿がとても印象的でした。



## NO!スポハラ研修会

2024年8月17日(土)「越前屋ホテル」に於いて、新潟県スポーツ協会のスポーツ・インテグリティ推進補助事業を活用し、「NO! スポハラ研修会」を開催しました。各競技団体でスポーツハラスメント担当者を対象に TM 共同法律事務所 渡部弁護士より講演いただきました。

ハラスメントと呼ばれる行為は多種にわたり、総じてスポーツ・インテグリティを守るためには、ガバナンス(組織運営の枠組みを構築)と、コンプライアンス(法令に基づいて組織に関与する人の管理をすること)が重要です。法令・ルールに基づき組織を運営すること、独善的な判断を防ぐために第三者が介入するなど、より多くの人がインテグリティ確保に自覚をもって関わる必要があると学びました。

その後、参加者によるグループディスカッションでは、既に相談窓口やコンプライアンス委員会を立ち上げている競技団体もあり、競技の枠を超えた意見交換ができました。

最後に講師からは、競技による特性を考慮しつつ、ハラスメントだけでなく多様なトラブルに備え、持続可能な組織をつくるために運営面を強化していきましょうと話がありました。

当協会では、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保することがスポーツの発展に繋がると信じ、今後もスポーツ・インテグリティの確保に取り組んで参ります。



## ミズノソフトテニスビクトリークリニック

2024年8月24日(土)に、ミズノ所属でナショナルチーム男子コーチ・マネージャーをされていた渡部 秀二講師をお招きし、「ミズノソフトテニスビクトリークリニック」を開催しました。県央地域の中学生ソフトテニス部員1・2年生を中心に53名が参加し、正しいスイングの仕方やストローク・ボレーの打ち方、前衛・後衛のポジショニングなど基礎的な動きを中心にご教授いただきました。

最初に、講師から「頭で考えてプレーすることが大事だ」と伝え、ウォーミングアップのコート間ダッシュ・サイドステップでは、コート端までの歩数を把握することで、左右に揺さぶられても諦めずに追えるようになり、考え方次第でプレーが変わってくるため、日頃の練習から考えてプレーする事が大切だと終始伝えていました。また、ストロークやボレーの練習では、体重移動をしっかりと行う事や、重心を低くする事、下半身を使って打つ等のアドバイスにより、次第に強いストローク・ボレーを打てる生徒が増えました。

教室後のアンケートでは、生徒からは「楽しかった」「今後に活かせる」「テニスが更に好きになった」という言葉がありました。また、生徒だけでなく指導者からも「渡部講師の指導が良かった」「今後に活かせる」という回答が多くあり、大変良いイベントとなりました。



## アスリートフォーラム

### ～アスリートと地域スポーツを考える～

2024年9月22日(日)に、アスリートフォーラムを開催致しました。個人～団体種目まで、たくさんの方が提供できるように、パネリストには、カヌースプリント当銘孝仁選手、オープンウォータースイミング加藤はなの選手、バレーボール大口晶蘭選手をお招きしました。

「NOスポハラ」の必要性やスポーツインテグリティを確保することの重要性、中学校部活動地域移行に伴って環境が変化していく小中学生のスポーツなどを現役アスリートのこれまでの経験を踏まえてパネルディスカッションを行いました。

部活動地域移行については、「場所・指導者の確保と資質向上」が必要であること。ハラスメント防止やグッドコーチについては「自立した選手育成、運動有能感を高める言葉かけ・指導が必要」など、具体的かつ有益な提言がなされました。

参加者からは、「地域のスポーツを考えるきっかけになった」「現役選手から話を聞けて良かった」「また開催してほしい」などポジティブなご意見をたくさんいただくことができました。

今後も、「NO スポハラ」の働きかけの継続、部活動地域移行の課題解決、指導者育成など、より良いスポーツの環境づくりを、新潟県央地域全体で連携し、スポーツ振興に邁進してまいります。

■参加人数 公式発表

67名+取材2件

※この事業は、(公財)新潟県スポーツ協会「スポーツ・インテグリティ推進補助事業」として開催しました。



## ダイバース・スポーツデイ

### さんじょう 2024

2024年10月14日(月祝)に、三条市下田体育館にて「ダイバース・スポーツデイさんじょう 2024」を開催しました。アクティブチャイルドプログラムをはじめ、多様なスポーツが体験できるイベントに加え、日本スポーツ協会の委託を受け「スポーツ指導におけるハラスメント防止・啓発セミナー」を同時に開催いたしました。

イベント当日は、合計115名(スポーツ体験:89名、ワークショップ:26名)の参加がありました。

<ダイバース・スポーツデイ>

昨年、学校部活動の地域移行により運動機会の減少が懸念される一方で、低年齢時からスポーツの早期専門化も問題となっており、楽しみや健康を目的に競技を限定しない活動が求められています。

イベントでは参加してくれた小・中学生に、野球、バレー、剣道、空手、ポッチャ・クロリング、運動あそび、ランニング&ハードル、相撲(すり足・四股)と全部で10種目をスタンプラリー形式で体験してもらいました。

イベントの中盤には、スペシャルタイムとしてワークショップ講師であり、JSP O-ACP普及ワーキング班員として活躍されている吉田繁敬氏によるACP体験も実施しました。会場全体が一体となり楽しくカラダを動かしました。

<ワークショップ>

ワークショップでは保護者・指導者グループに分かれて、まず「子どもたちになぜ運動が必要なのか」、「スポハラが起こる原因」について学びました。そして、スポハラを防ぐために保護者・指導者それぞれの立場で何ができるかを考え、活発な意見交換を行いました。

最後にワークショップをふり返り、参加者が各々「私のやります宣言」を記入しました。この宣言書を自宅等の目につくところに掲示して心がけていきたいと思いますという事で締めくくりました。

1日を通じて、子どもたちが安全・安心にスポーツを楽しめる社会をつくるためにできることをそれぞれの立場で学び良いきっかけになるイベントを開催できました。



## パドルスポーツフェスタ 2024

2024年9月1日(日)三条市の地域資源を活かしたスポーツである「パドルスポーツ」を通じて、地域活性化を目指すイベントとして2024年9月1日(日)に、様々なパドルスポーツ(レジャーカヌー、ラフティング、SUP※1)が体験できる「2024パドルスポーツフェスタ」を三条市・三条市スポーツ協会が共に、開催致しました。

信濃川に会場を移して3回目となる今回は、当銘選手のアテンドによりパリ五輪銅メダリストでもあるディエゴ・ドミンゲス選手とスペイン代表ノエル・ドミンゲス選手も来場し、県内高校生を対象とした「スキルクリニック」の開催を致しました。また、参加者と共にラフティング体験もしていただき、トップアスリートと触れ合える素晴らしい機会となりました。

今年も全ての体験時間が満員御礼となり、多くの皆様にパドルスポーツを体験していただきました。アンケートにも「楽しかった」「また実施して欲しい」等高評価をいただけました。

今年は県アウトドア協会さんも協力していただき、「アウトドアのまち三条」をこのイベントからも表現できました。

これからも「アウトドアのまち三条」として、パドルスポーツを通じて地域活性化に繋げて参ります。

ご来場の皆様はもちろんの事、本イベント開催にあたりご尽力頂いたご協力企業様及びスタッフの皆様にも御礼申し上げます。

※1Stand Up Paddling(スタッドアップパドリング) = SUP(サップ)



## 12月親子運動あそび教室

2024年12月7日(土)「ウェルネスただ」に於いて2歳から小学3年生の親子を対象とした「親子運動あそび教室」を開催しました。

当日は親子12組(計37名)が参加し、ゴム製のフープやシフォン(空気抵抗を受けやすい布)を活用した運動プログラムを実施しました。フープを使用してジャンプする遊びでは、高く・静かに・速くなど、お題に合ったジャンプに挑戦し、元気にからだを動かしました。

また、親子で手を繋ぎながらジャンプするメニューも行いましたが、からだを触れ合いながら遊ぶことで、スキンシップを通じてより楽しい気持ちを共有でき、顔を合わせて親子で笑い合う姿が見られました。

また、シフォンを使ったメニューでは、シフォンを投げて、体でキャッチする動きを取り入れました。予測が難しい動きをするシフォンに、子どもたちは目を輝かせながら何度も挑戦し、成功しても失敗しても楽しく取り組んでいました。

最後のフリー開放では運動あそびの道具を体育館いっばいに広げました。子どもたちが遊び道具を思い思いの形に展開しては挑戦、少し形を変えて展開して挑戦と、主体的に工夫を重ねながら夢中になって遊んでいました。

今後も親子運動あそび教室を通じて、親子の絆を深めるとともに、からだを動かす楽しさや遊び方を伝えながら、子どもたちの将来の心身発達に繋げていきます。



## 新年祝賀会

2025年1月12日(日)18:00より、ジオ・ワールドビップにて三条市内のスポーツ関係者が一堂に集う、令和7年新年祝賀会を開催しました。

開会にあたり、中條会長より挨拶をいただき、人口減少に伴うスポーツ環境の変化について言及し、広域的なスポーツネットワークの構築の必要性を強調されました。

スポーツ功労者表彰を行い、三条市テニス協会佐藤顧問・三条市ソフトボール協会阿部理事を長年その種目・団体の発展・振興の功績を讃え、表彰いたしました。

佐藤様からは「熱意を持ち、三条市のテニス発展のために、テニスの日というイベントを開催しました。これからも発展のために尽くしていきたい。」とありました。

阿部様からは「15歳の時に競技と出会い60年近く携わっている、恩師からの驕る事なかれという言葉に胸に、これからも一生懸命努力して頑張りたい。」とありました。

来賓を代表し、三条市長滝沢亮様よりご祝辞として、開催にあたりお祝いの言葉をいただき、その後三条市の少子化の現状に触れ、三条市未来の学校検討委員会の継続や県立高校の再編に関する提案を県に提出する事をおっしゃられました。

三条市議会議長森山昭様より、市議会としても三条市のスポーツ振興を応援していくとおっしゃられ、乾杯のご発声いただき、その後祝宴となりました。

開会には、熊倉副会長より挨拶をいただき、盛況のうちに閉会いたしました。

この新年祝賀会を通じて、皆様の三条市のスポーツへの熱い思いが共有され、スポーツ振興が益々加速していくのではないかと感じました。

ご出席いただいた112名の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



## グッドコーチング研修

2025年1月19日(日)三条市栄体育館「多目的室」に於いて、一般社団法人三条市スポーツ協会と三条市スポーツ少年団主催、三条市共催「グッドコーチング研修」を開催しました。

アイ・プラス株式会社 代表取締役吉田繁敬先生より「自立したプレーヤーを育てよう」と題して、研修とグループワークを行い、指導者・保護者など66名より参加いただきました。

前半は「コーチング」とはなにか、コーチングの基本的なスキルを学びました。指導者が子ども達にならせた姿ではなく、子ども自身がなりたい自分へサポートすることがコーチングであり、具体的な関わり方について事例を用いながら学びました。

後半は、指導者も保護者も一緒に、「子どもたち自らが主体的に取り組めるような環境を提供する為には何をすべきか」というテーマでグループワークを行い、現場での具体的な課題や問題点を共有し、解決策を模索しました。

最後の発表では、他の参加者の視点やアイデアを共有し、新たな気づきを得ることができました。

参加者はこの研修を通じて、勝敗よりも、子どもたちが生涯にわたってスポーツ続けるために、スポーツが楽しいと思える環境をつくるのが最も重要で、指導現場でどのように応用していくかを学ぶ機会となりました。

また、アンケートではワークショップで意見交換できたことへの評価も高く、全体の9割以上が満足と回答があり、非常に有意義な研修を開催することができました。



# スポーツ選手賞表彰式(2024年2月22日)

2025年2月22日(土)10:00より、三条市体育文化会館マルチホールにて、令和6年度三条市スポーツ協会表彰式を開催しました。

総勢64名の個人・団体が受賞し、表彰式当日には38名より出席していただきました。

開式にあたり、中條会長より挨拶をいただきました。続いて来賓の三条市長滝沢亮様よりご祝辞をいただきました。

表彰状授与では、中條会長より出席された栄光賞14名、優秀賞18名、奨励賞6名へ賞状を手渡されました。

スポーツ選手賞を受賞された皆様、改めまして受賞おめでとうございます。更なる飛躍を願っております。

※スポーツ選手賞は、2024年4月1日～2025年3月31日を期間として、各加盟団体等より優秀な成績を修められた方を推薦いただいております。

## 受賞者一覧

栄光賞:日本代表として国際大会に出場、全国大会において3位以上

優秀賞:全国大会に出場

奨励賞:ブロック大会及び県大会において優勝・準優勝



栄光賞 17名

No	競技名	氏名	所属	学年
1	カヌー	當 銘 孝 仁	アーネスト株式会社	一般
2	バウンドテニス	若 穂 囲 ヒ サ イ	三条市バウンドテニス協会	一般
3	バウンドテニス	小 林 玲 子	三条市バウンドテニス協会	一般
4	テコンドー	田 邊 晃 那	土衛塾	中学2年生
5	ドッジボール	鈴 木 歩	下田中学校(BigBlue)	1年生
6	ドッジボール	竹 石 瞬 生	下田中学校(BigBlue)	1年生
7	ドッジボール	林 柚 希	下田中学校(BigBlue)	1年生
8	ドッジボール	西 潟 蒼 生	下田中学校(BigBlue)	1年生
9	ドッジボール	横 山 桜 城	下田中学校(BigBlue)	1年生
10	銃剣道	小 池 健 太	加茂高等学校	1年生
11	銃剣道	元気道場中学生	元気道場	中学生
12	銃剣道	元気道場小学生	元気道場	小学生
13	銃剣道	丸 山 智 輝	第三中学校	3年生
14	銃剣道	大 桃 恭 都	本成寺中学校	2年生
15	銃剣道	大 桃 明 日 花	月岡小学校	5年生
16	銃剣道	滝 沢 舞 桜	月岡小学校	2年生
17	フットサル	中 澤 遥 馬	栄中学校(長岡 JYFC)	3年生

優秀賞① 37名

No	競技名	氏名	所属	学年
1	剣道	長 谷 川 碩 亮	新潟県警	一般
2	剣道	若 林 祐 汰	新潟商業高等学校	3年生
3	剣道	佐 野 凰 斎	新潟商業高等学校	3年生
4	剣道	長 谷 川 日 奈 子	新潟青陵高等学校	3年生
5	剣道	野 島 太 伍	新潟商業高等学校	2年生
6	水泳	加 藤 は な の	ダッシュスイミングスクール三条	大学院3年生
7	水泳	秋 山 隆 創	ダッシュスイミングスクール三条	高校2年生
8	水泳	本 間 匠 騎	ダッシュスイミングスクール三条	高校3年生
9	水泳	山 口 修 司	ダッシュスイミングスクール三条	高校3年生
10	水泳	堀 川 煌	ダッシュスイミングスクール三条	高校3年生
11	水泳	高 橋 依 楓	第一中学校	3年生
12	陸上	亀 山 翼	三条高等学校	3年生
13	陸上	川 村 悠 太	三条高等学校	1年生
14	陸上	飯 塚 凜 玖	新潟明訓高等学校	1年生
15	陸上	山 崎 夢 夏	新潟明訓高等学校	1年生
16	陸上	神 田 大 和	開志国際高等学校	3年生
17	陸上	南 雲 愛	第一中学校	1年生

# スポーツ選手賞表彰式

## 受賞者一覧



### 優秀賞②

No	競技名	氏名	所属	学年
18	少林寺拳法	廣川隼士	三条東高等学校	2年生
19	少林寺拳法	熊谷晃	新潟商業高等学校	2年生
20	少林寺拳法	重泉日俐	三条東高等学校	2年生
21	少林寺拳法	栞原舞子	新潟青陵高等学校	2年生
22	テニス	渡邊希颯	新潟第一高等学校	3年生
23	テニス	馬場貴大	東京学館新潟高等学校	3年生
24	ソフトテニス	大野華稟	中越高等学校	3年生
25	ソフトテニス	井上陽翔	中越高等学校	3年生
26	弓道	武石雪月花	三条弓道会	中学3年生
27	柔道	堀川祐里	新潟第一高等学校	3年生
28	バレーボール	皆川小百合	栄中学校(Glitter)	3年生
29	ウエイトリフティング	鈴木志温	新潟県央工業高等学校	2年生
30	レスリング	赤塚晟結	新潟県央工業高等学校	1年生
31	空手道	杉山夢来	第二中学校	2年生
32	太極拳	大沼紀子	三条太極拳協会	一般
33	銃剣道	滝沢柊士	中越高等学校	2年生
34	銃剣道	大桃紘都	創進学園高等学校	1年生
35	自転車	渡邊智也	月岡小学校	5年生
36	自転車	渡邊結也	月岡小学校	5年生
37	自転車	渡邊花乃羽	月岡小学校	2年生

### 奨励賞 10名

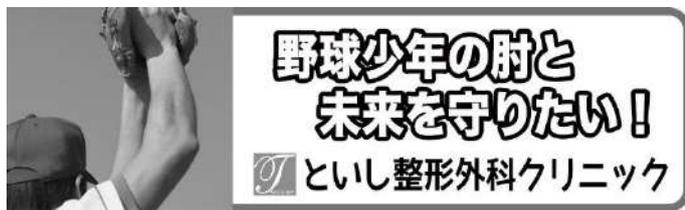
No	競技名	氏名	所属	学年
1	テニス	皆瀬敏也	三条ファミリーテニスクラブ	中学2年生
2	剣道	塚本有咲	三条ファミリーテニスクラブ	小学6年生
3	剣道	高波美帆	三条ファミリーテニスクラブ	小学6年生
4	剣道	土屋叶	新潟青陵高等学校	小学6年生
5	柔道	坂上玲央	帝京長岡高等学校	3年生
6	水泳	藤田夢生	帝京長岡高等学校	2年生
7	陸上	櫻田晃良	第二中学校	2年生
8	水泳	高橋馳	第二中学校	1年生
9	水泳	中島蘭夏	ダッシュスイミングスクール三条	小学6年生
10	水泳	坂井結衣子	ダッシュスイミングスクール三条	小学6年生



# 令和6年度サポーターズ会員

2025年3月30日現在  
敬称略・あいうえお順

## 特別会員



個人会員	団体会員		法人会員
内山 充雄	三条合気道会	三条柔道倶楽部	(株)川波
小柳 敏夫	㈱三條機械製作所バドミントン部	三条乗馬クラブ	(有)坂爪スプリング製作所
捧 勲	三条弓道会	三条スキークラブ	(医)三条会エックス東京クリニック
捧 勇	三条剣道会	三条太極拳協会	ダイナスティーアーチェリー
佐藤 祥一	三条ゴルフ協会	三条卓球連盟	(有)日承テクニカル
佐藤 美教	三条市ウェイトリフティング協会	三条テコンドー協会	
菅井 国次	三条市空手道連盟	三条バスケットボール協会	
鈴木 協	三条市カヌー協会	三条野球連盟	
鈴木 裕	三条市栄地区スポーツ協会	下田相撲連盟	
高山 明	三条市サッカー協会	バドミントンクラブウイング	
橋崎 則宗	三条市下田地区スポーツ協会	立直クラブ	
藤田 五郎	三条市小学校体育連盟		
松崎 和雄	三条市水泳協会	取りまとめ団体	
丸山 法男	三条市スポーツ少年団	三条市陸上競技協会	
山本 志	三条市ソフトボール協会	三条バドミントン協会	
湯川 一彦	三条市中学校体育連盟		
若井 誠	三条市テニス協会		
若林 義和	三条市バウンドテニス協会		
渡辺 良俊	三条市バレーボール協会		
	三条銃剣道会		